

刊日

おもしろ

社開新等所行發
九五町南町平塚島嶺
次除廢伊人存發
一港古町嶺石小縣島嶺

刊夕日八十二月十

一ヶ月 三十錢
部 二 錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

浄光院に於いて、先年灰燼に
にされた薬師の復旧工事が
來春より着手するため、町

町營港灣埋立浚渫岸壁築造
工事施行の件外議案十一號
上水道計畫に關する協議案一ツ
盛澤山の小名濱町會
十月廿七日開會 (一)

小名濱町會は二十七日午前
九時より役場樓上會議室
於て開會する、全員出席
議案目録
一、議案第一號、昭和十年
度小名濱町職人出追加更
正算
二、全第二號、町税追加
課の件
三、全第三號、町税追加課
課の方法
四、全第四號、町費補助の件
五、全第五號、町營港灣埋
立浚渫岸壁築造工事施行
の件
六、全第六號、町有地排水
及道路工事施行の件
七、全第七號、小名濱町火
葬場管理規程設定の件
八、全第九號、火葬場看守
職務心得設定の件
九、全第十號、不動産無償
譲受の件
十、同第十一號、町財産
お菓子を買立廻つたと
する内田鐵相は十一、二日小

町に來り自動車を驅つて平部は相當平小線決定に對し
小候補三線の候補通線路線、重大なる意義を有するも
を實地踏破する事になり期として重大視されてを
愈々迫る今日内田鐵相の來

柔道選手として
神宮競技に出場
小名濱小學校の中根訓導

記録破りの猛雨
實に一石二斗
小名濱測所發表
二十七日激雨を襲つた風
速は一八八米突で小名濱測
候所の觀測によると二十七
日午後六時から七時頃まで
の最も猛烈だつた降雨量
に二六六、八ミリ(坪當り
一石二斗)であつた、この
雨は日本海の高氣壓が潮
とどつた一線の間に不連
續線を生じて豪雨をもたら
したものであり、南々の方
町税督促及督促手数料係
例設定の件
三、協議案、上水道計畫

立はなしご用心
泥棒賣店を襲ふ
渡邊請願巡査のお手柄
去る廿六日午前八時ごろ小を探知して逮捕せんとす
本福三郎(三)さんが三間た爲め大格闘を演じて來
離れた處で三分程立話中にやく逮捕した、賣店襲撃は
買取られたのでビツクリ仰白したが余罪ある見込みで
とてけたため、調査の上石
城郡玉川村字野田生れ住所
不定中野保(一)假名なるこ
町三〇番地伊東屋雜貨店に
お菓子を買立廻つたと
する内田鐵相は十一、二日小

平郵便局
電話交換嬢遠足
港視察をかね二十六日(土)
主事以下交換嬢廿六名、廿
七日(日)主事外廿五名が
安遠足を行ひ、途中小瀬
泉に小憩して名湯の香り
満喫し備前宮の隠蓐に欣

磐炭灰處分の一と悶着
磐城炭礦小發電所では石炭
灰の處分に困難に居たが
此程神谷村上神谷の一部
之が捨場を撰みたる處其附
近なる同村上片寄の部落で
は之れに依る農作物の被害
甚大なるものとして反對を
唱へ同區長其他は目下關係
者に對して交渉中であるか
ら一悶着は免れまいと見ら
れてゐる。
小名濱魚市場調査
魚名 魚獲高 單價
平切 大三三〇 中三二〇
鯉 二三四二 七〇一六〇
小鯛 三貫 三五〇
タコ 三百貫 二五〇
小平 三百貫 二二〇
人港敷
船 一
底式船 一五
◇天氣豫報◇
小名濱氣象特報
今夜 北西風時雨模様
明日 晴
氣壓 七五十四程度

磐越東線 開通以來の大椿事 汽車川前顛覆 死傷者數拾名を出す

廿七日午後六時廿二分平塚島嶺物産館前主齋藤三郎縣岩沼郡平林村白田嶺(一)九時より役場樓上會議室
着豫定の磐越東線(二)△平町古鍛冶町米穀商久保(三)平町平鐵道職員猪狩友友於て開會する、全員出席
號旅客列車が約卅分遅れ川前政己(三)△石城郡神谷村(三)△同人妻は(三)△同人長男吉康(三)
前驛を發車五十分頃小瀬野傳左工門△田村郡七女(三)△同人長男吉康(三)
川前驛開夏井川第一鐵橋を越村給木常美△飯野村谷川平町才越小路魚行南吉△盛
通過して間もなく折柄の豪雨在郷軍人分會長山崎龜男(三)△平町大町山野邊(三)
雨で線路が浮いてゐる處へ(三)△
幕進して來た爲め機關車、
郵便小荷物緩急車、二三等山形縣南村山郡西郷村東郷村大字湯原十長山(三)△
混合列車、三等車の四輛が農山口(三)△同村宇高(三)△石城郡鹿島村下矢田(三)△
脱線し折重なつて數十尺下松農坂返經(三)△東京市淺部嘉石工門(三)△小野町(三)△
の間の河中へ墜落し、乗客草津淺草橋(三)△二一商高行商中根喜一郎(三)△石城郡
死傷者數十名を出し小川柳政雄(三)△福島市曾根田天上小川村大字小川郷國分
驛に先づ收客した、小野神前縣地課農林技師堤左次(三)△平町中町魚商福田力
新町よりは醫師、看護婦、在馬(三)△石城郡上小川村(三)△平町久保町魚商野崎
郷軍人、青年團員等をのせ川農草野四郎兵衛(三)△新海泰雄(三)△
な救援車を出し、一方川前
驛前永山徳一氏所有の別荘
に死傷者を收容、應急手當
を加へてゐる。
死傷者は左の如くである
平町二丁目藥舖西村屋主鈴木
木邦三郎(三)△平町四丁目赤井鐵管長旭純榮師は午前十一時廿分小名濱町開虎山

旭純榮師
赤井鐵管師
寄附金募集に
町有志懇談

町營港灣埋立浚渫岸壁築造
工事施行の件外議案十一號
上水道計畫に關する協議案一ツ
盛澤山の小名濱町會
十月廿七日開會 (一)

柔道選手として
神宮競技に出場
小名濱小學校の中根訓導

磐炭灰處分の一と悶着
磐城炭礦小發電所では石炭
灰の處分に困難に居たが
此程神谷村上神谷の一部
之が捨場を撰みたる處其附
近なる同村上片寄の部落で
は之れに依る農作物の被害
甚大なるものとして反對を
唱へ同區長其他は目下關係
者に對して交渉中であるか
ら一悶着は免れまいと見ら
れてゐる。
小名濱魚市場調査
魚名 魚獲高 單價
平切 大三三〇 中三二〇
鯉 二三四二 七〇一六〇
小鯛 三貫 三五〇
タコ 三百貫 二五〇
小平 三百貫 二二〇
人港敷
船 一
底式船 一五
◇天氣豫報◇
小名濱氣象特報
今夜 北西風時雨模様
明日 晴
氣壓 七五十四程度

東北港灣振興座談會 速記 錄

小名濱港 (二十一)

(二十二番の続き)

また港の形や陸上の設備に付て全然見當がつきませぬので、斯う云ふ風あ、云ふ風と使用者側から見たらつきりした意見も有つて居りませぬが、ただ茲に希望として申述べたいのは、是は内務省で完成後は縣の方で御經營になる事と伺つて居りますが、丁度其例は鹽釜でありませぬ、鹽釜の例から考へまして岸壁使用料と云ふ様な各種の使用料と云ふ様なものが割高になつて居る爲めに利用者か少ないと云ふ事があるもので、今後縣で御經營の場合に充分御研究を願ひ、且つ利用者の意見に耳を傾けて戴きたいと思ふのであります、それは實際の問題が出て來た場合に吾々忌憚なく申上げますが、鹽釜の例は岸壁使用料が一噸に對して最初の二十四時間が四錢となつて居ります、其四錢は卸したり積んだりする貨物一噸に對してでなく、船の總噸數に對して徴収するのであります、三噸の船が五百噸の荷役をしても三噸の料金を徴収すると云ふ事になつて居ります、岸壁の利用が行はれないで解で荷役をやつて居ります、現に吾々も滿洲から原料を持つて來るのに最初横濱へ陸揚げして居たのですが、鹽釜へ揚げるに幾らか汽車の運賃も安いので鹽釜に揚げる事にして居ります、横濱に於ては船が忙しいが鹽釜はさうではありませんので鹽釜に廻して居りますが、前申上げた理由で岸壁を使用せず、船で取つて居るが、斯う云ふ風な例もありませぬ、是等の點に付て御考慮を願ひたいと思ひます、尙ほ事實上の設備に付ては何にも申上げる意見も有つて居りませぬ、ただ私の會社の立場からさう云ふ風な意見を申上げましたが、私別に第一項に聊か觸れます様であります、港灣の利用を大いにやみ其振興を計る爲めには、港灣のみの振興のみでは意味を爲さないで、其の背後に在る土地の利用、それが結局港灣の繁榮にもなる、

電気熔接 石油、重油タンク、鋸齒手釜及
酸素熔接 グレン、船舶用各タンク、蒲鉾
用ボイラー一式、出張取付
三好式鋸削ベキリン(三臺掛、四臺掛、五臺掛各
諸機械)
三好鐵工所植田第一工場
製作所
主 三好彌彌 吉
石城郡植田町野前八幡下
電話 植田一〇八番

出張所の開設

毎度多大の御引立に預り厚く御禮申上ります
昨年来種々準備に日を重ねて居りましたが大体手
續を了しました、何卒本店同様御引立の程幾重に
も御願ひ申上ります
◎親切 ◎丁寧 ◎配達迅速を期して
今後一段の勉強致します

船具 漁網 各種
ペンキ 塗料 各種
セメント 壁材 各種
度量衡器 計量器 各種
ゴム合羽とゴム靴一式

煙草と鹽販賣
船具 漁具 各種
ペンキ 塗料 各種
度量衡器 計量器 各種
ゴム合羽とゴム靴一式

高級紳士服
各中等學校制服調製
各種既製洋服
江島屋洋服店
電話 町二九丁目
(ヤキユン)

内科、小兒科
婦人科、花病科
久保田醫院
小名濱町
電話 二二番

柄合の撰擇は
江尻呉服店
商品豊富な店
商號 西村屋
通稱 タイモン
小名濱町横町
電話 二十四番

銘酒
清世界
清水屋本店
小名濱町電話六番

内科 外科
小兒科
花柳病科
平川醫院
江名町
電話 二六番

美術石版
印刷活版
ミドリ石版所
小名濱町古港福田屋南隣り

眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町
秋の行樂、一日の清遊に
川前の耶馬溪へ、
觀楓に御出掛けなさいませ
川魚の御料理と
美人のサービスが御待致して居升
美效連の御用は何時でも
御料理 若島屋
本店 田村郡小野新町
出張所 石城郡小川村牛小川

銘酒「玉の井」
長瀬彰義醸造
石城郡玉川村

石版 敏捷
活版 正確
印刷所
長瀬芳郎印刷所
口入座城磐
り通島中濱名小

衛生材料
寶屋藥舖
港古町濱名小
番九三話電